

第85期末 (2020年1月10日)

基準価額 9,454円

純資産総額 527百万円

第83期～第85期
(2019年7月11日～2020年1月10日)

騰落率 3.8%

分配金合計 120円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

ニッセイ／パトナム・ バランスアップオープン

【愛称】トリプルスター

追加型投信／海外／資産複合

交付運用報告書

作成対象期間：2019年7月11日～2020年1月10日

第83期 (決算日 2019年9月10日)

第84期 (決算日 2019年11月11日)

第85期 (決算日 2020年1月10日)

受益者の皆様へ


平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／パトナム・バランスアップオープン」は、このたび第85期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド」「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド」「ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に海外債券、海外株式へ分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 0120-762-506 (コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書(全体版)

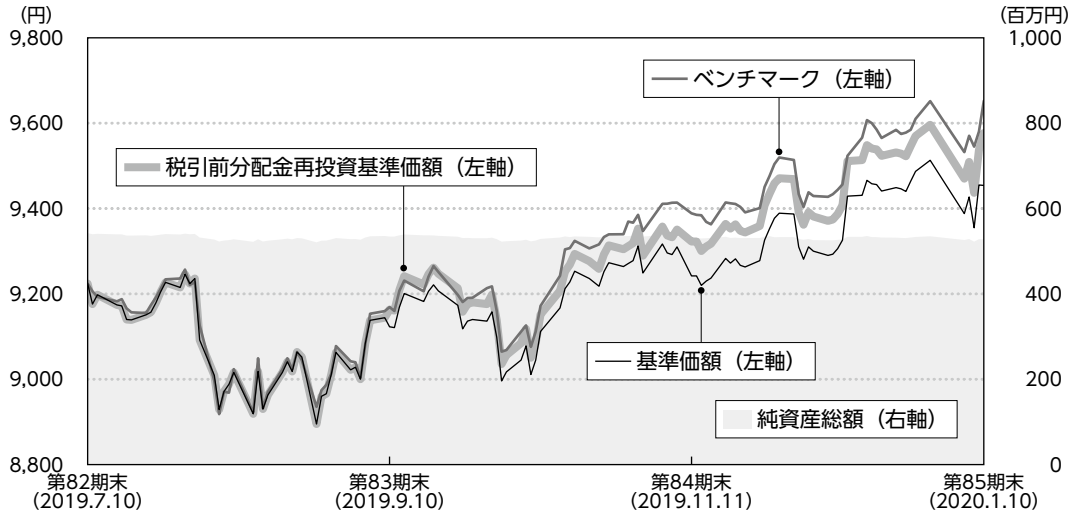
UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

運用経過

2019年7月11日～2020年1月10日

基準価額等の推移



第83期首	9,224円	既払分配金	120円
第85期末	9,454円	騰落率 (分配金再投資ベース)	3.8%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークは、ブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックス(円換算ベース)、ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州総合インデックス(円換算ベース)、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)を各々3分の1の比率で合成したもので、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なおベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2019年9月から当作成期末にかけて、米中通商協議の進展期待やハードブレグジット（イギリスの欧州連合（EU）からの強硬離脱）の可能性の低下などを受けて海外株式市場が上昇したこと

<下落要因>

- ・当作成期初から8月末にかけて、米中通商協議を巡る不透明感や世界的な景気後退懸念を受けて米ドルやユーロが対円で一時的に軟調に推移したこと

組入マザーファンド	基準配分	組入比率	騰落率
ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド	3分の1	33.4%	4.0%
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	3分の1	33.2	1.1
ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド	3分の1	33.4	8.9

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

1万口当たりの費用明細

項目	第83期～第85期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	73円	0.795%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,208円です。
(投信会社)	(35)	(0.384)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(35)	(0.384)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.010	
(株式)	(1)	(0.010)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.002	
(株式)	(0)	(0.002)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.017	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.009)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.003)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	76	0.824	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

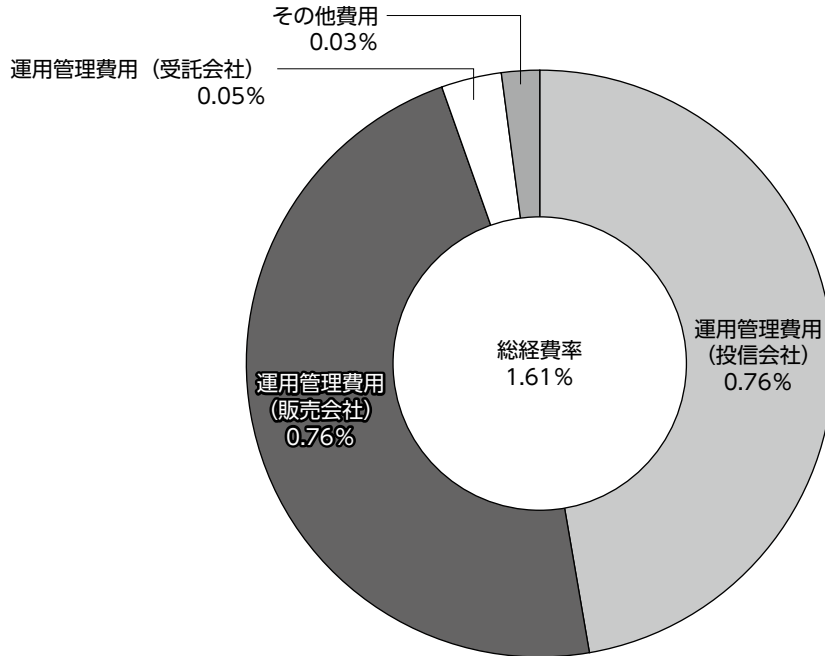
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.61%**です。



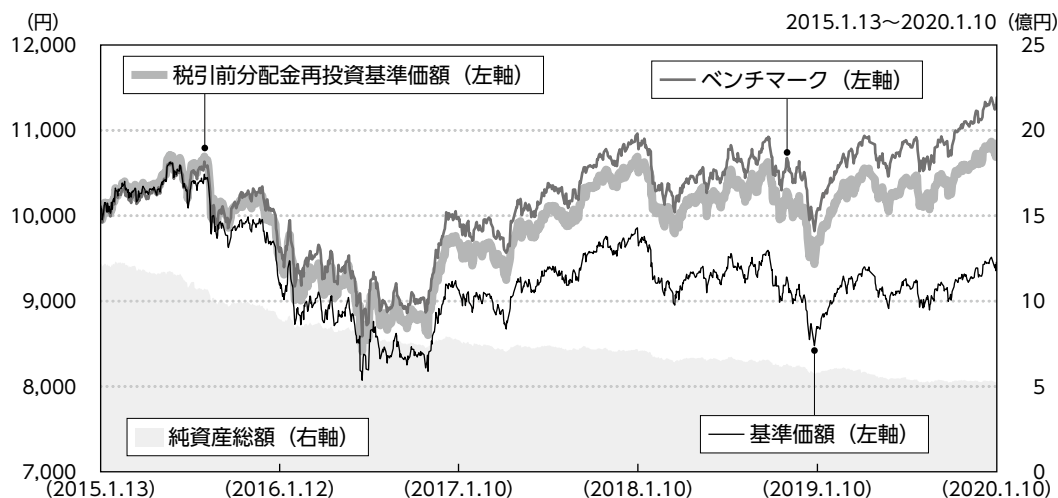
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、2015年1月13日の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークは2015年1月13日の基準価額にあわせて再指数化しています。

決算日		2015年 1月13日	2016年 1月12日	2017年 1月10日	2018年 1月10日	2019年 1月10日	2020年 1月10日
基準価額 (分配前)	(円)	10,112	9,190	9,128	9,736	8,679	9,454
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	320	240	240	240	240
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△6.2	2.1	9.4	△8.5	11.8
ベンチマーク騰落率	(%)	—	△5.3	4.3	8.9	△7.5	13.2
純資産総額	(百万円)	1,218	892	771	710	579	527

投資環境

■米国債券市況

当作成期の米国10年国債金利は低下しました。当作成期初より米中通商協議を巡る不透明感やユーロ圏における軟調な経済指標などを背景に市場のリスク回避傾向が強まり、金利は低下（債券価格は上昇）しました。また、米連邦準備制度理事会（FRB）により行われた利下げも金利の低下要因となりました。9月から当作成期末にかけては米中通商協議への進展期待やハードブレグジットの可能性の低下などを受けて、金利はおおむね上昇基調で推移しました。

■欧州債券市況

当作成期のドイツ10年国債金利はおおむね横ばい推移となりました。当作成期初より欧州景気の減速懸念や製造業における軟調な経済指標などを受けて欧州中央銀行（ECB）が追加緩和の可能性を示唆したことなどから、金利は低下しました。9月から当作成期末にかけては米中通商協議への進展期待やハードブレグジットの可能性の低下などを受けて、金利は上昇基調で推移しました。

■海外株式市況

当作成期の海外株式市場は上昇しました。当作成期前半は米中貿易摩擦を背景とした両国の追加関税の応酬やブレグジット（イギリスの欧州連合離脱）を巡る混迷などから上値の重い展開となりました。当作成期後半は米中通商協議への進展期待やイギリス総選挙での与党・保守党の大勝、FRBの金融緩和スタンス、良好な年末商戦や世界的な景気の回復期待などから上昇基調となりました。

■為替市況

<米ドル／円>

当作成期の米ドル／円相場は横ばい推移となりました。当作成期初から8月末にかけては米中通商協議の楽観論後退や世界景気の減速懸念、ブレグジットを巡る混迷等から米ドル安円高となりました。9月から当作成期末にかけては米中通商協議への進展期待やハードブレグジットの可能性の低下などを受けて、米ドルは対円で緩やかに上昇しました。

<ユーロ／円>

当作成期のユーロ／円相場は横ばい推移となりました。当作成期初から8月末にかけては米中通商協議の楽観論後退や欧州景気懸念の高まり、ブレグジットを巡る混迷等から、ユーロは下落基調で推移しました。9月から当作成期末にかけては米中通商協議への進展期待やハードブレグジットの可能性の低下などを受けて市場心理が改善し、ユーロは対円で緩やかに上昇しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド」「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド」「ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に海外債券、海外株式へ分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を図ることを目標に運用を行いました。

原則として上記マザーファンド受益証券の基準配分比率は、純資産総額に対して各々3分の1とし、同配分比率を継続的に維持できるように各マザーファンド受益証券の組み入れを行いました。

当作成期も資金の流出入や各マザーファンド受益証券の価格変動に対応して、ファンドの配分比率を調整し、継続的に基準配分比率を維持しました。

■マザーファンド

*各マザーファンドの運用に当たっては、ザ・パトナム・アドバイザー・カンパニー・エルエルシーに運用指図に関する権限（国内の短期金融資産の運用の指図に関する権限を除きます）を委託しました。

<ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド>

米ドル建ての多種多様な債券（米国国債、モーゲージ証券、米国社債、ハイイールド債、米国外公社債等）を投資対象とし、戦略的な資産配分と業種・銘柄を選択し幅広く分散投資することで、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努め、ベンチマークであるブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックス（円換算ベース）を長期的観点から上回ることを目標に運用を行いました。

<ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド>

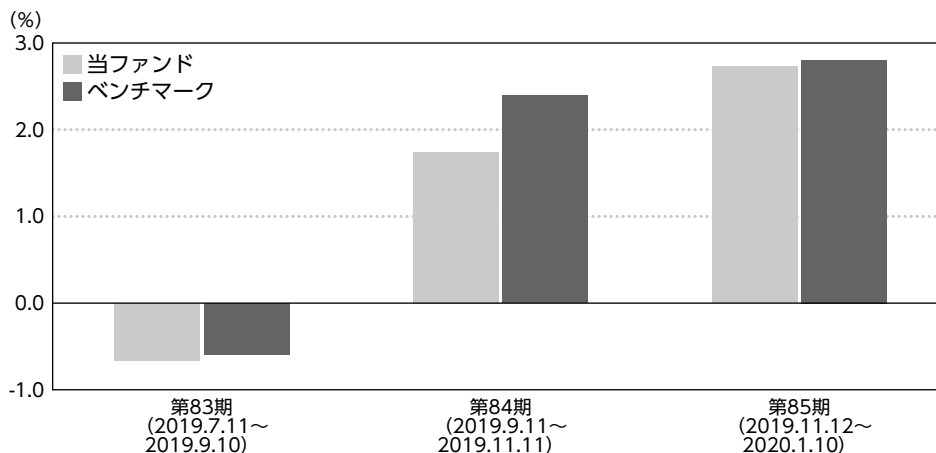
主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に分散投資することで、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努め、ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

<ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド>

主に日本を除く主要先進国の株式に分散投資を行い、ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（円ベース）を中長期的に上回ることを目標にアクティブ運用を行いました。

*ベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

ベンチマークとの差異



当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+3.8%となり、ベンチマーク騰落率(+4.6%)を下回りました。

これは主に、組み入れているニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンドとニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンドがベンチマークを下回ったことや、信託報酬等の費用を控除したことなどによるものです。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第83期 2019年7月11日 ～ 2019年9月10日	第84期 2019年9月11日 ～ 2019年11月11日	第85期 2019年11月12日 ～ 2020年1月10日
	当期分配金（税引前）	40円	40円
対基準価額比率	0.44%	0.43%	0.42%
当期の収益	15円	29円	30円
当期の収益以外	24円	10円	9円
翌期繰越分配対象額	230円	220円	211円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

「ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド」「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド」「ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に海外債券、海外株式へ分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を図ることを目標に運用を行います。相場動向やその見通しによって配分比率を変更するファンドではありません。従って、今後も基準配分比率に従い各マザーファンド受益証券の組み入れを行い、同配分比率を継続的に維持していく方針です。

■マザーファンド

<ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド>

米国経済については製造業は引き続き減速傾向となったものの、労働力市場や国内消費においては好調な指標が発表され、サービスセクターも引き続き堅調な推移となりました。金融政策については、労働力市場における好調な指標等を背景に、当面、金融緩和は行われないと予想しますが、引き続き金融政策の動向に注視していきます。

今後の運用については、金利リスクはデュレーションを対ベンチマーク比で中立近辺としています。市場動向等に応じてポジションを調整します。債券種別に関しては、商業用モーゲージ証券（CMB S）や投資適格社債を引き続き対ベンチマーク比で多めの配分とし、国債等を少なめの配分とする方針を継続します。

（注）デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。以下同じです。

<ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド>

欧州経済については米中貿易協議の第1段階の基本合意が達成されたことやブレグジットを巡る懸念の後退などを背景に安定化の兆候が見られますが、製造業における軟調な指数が残っており、引き続き注視していきます。金融政策については、現行政策の見直しに関する議論がECB内で行われており、今後の動向について注視していきます。

今後の運用については、金利変動リスクの大きさを示すデュレーションは対ベンチマーク比でやや短めとしています。市場動向に応じて調整します。国・地域別配分は対ベンチマーク比で現在はイギリス、スウェーデン等を多め、フランス、ドイツ等を少なめとしています。機動的に調整を行います。債券種別配分はハイイールド社債の組み入れを継続するとともに、対ベンチマーク比で投資適格社債の組み入れを多め、政府・国際機関債等の組み入れを少なめとする方針です。

<ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド>

米国によるイラン革命防衛隊の司令官殺害を受け中東情勢のさらなる緊迫化が懸念されています。本格的な全面衝突に陥るリスクもあり、当面は予断を許さない状況が続く可能性が危惧されています。また、進展をみせた米中貿易協議も政治的な環境を踏まえた双方の自国向けアピールに鑑みれば一時的な対立緩和の可能性が高く、依然として根本的な米中間の対立の隔たりは大きいとみられています。特に、米大統領選挙を見据えてさまざまな地政学リスクが一段と高まる状況となっており、金融市場においては神経質になる局面が度々出てくることは十分に想定されます。一方、これまでの米中貿易摩擦の影響から製造業を中心に投資循環が持ち直しの兆しを見せ、改善を示してきていることや、現時点では中国の経済対策や米国などの財政拡張が寄与する中で景気は下支えされる見通しであることなどから、世界景気は緩やかに回復していくとみられています。米国経済の現状はインフレ動向が良好な水準で落ち着いており、FRBを中心に主要中央銀行の金融政策が緩和姿勢であることは世界の株式市場を支える重要な要素になっていると判断しています。

上記環境認識のもと、当マザーファンドでは利益成長が見込まれ割安な水準で推移している銘柄を組み入れます。

今後の運用については、セクター別では引き続き素材セクターなどの銘柄に比重を置き、ヘルスケアセクターなどの銘柄には慎重なスタンスで個別銘柄選択を行います。

(注) セクターはGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Incに帰属します。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第85期末 2020年1月10日
ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド	33.4%
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	33.2
ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド	33.4

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

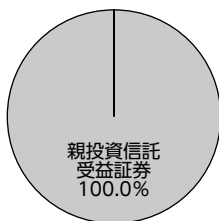
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

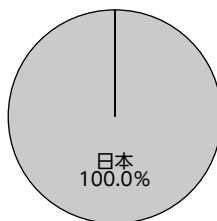
項目	第83期末 2019年9月10日	第84期末 2019年11月11日	第85期末 2020年1月10日
純資産総額	534,155,310円	530,948,558円	527,892,986円
受益権総口数	585,514,161口	574,500,864口	558,404,019口
1万口当たり基準価額	9,123円	9,242円	9,454円

(注) 当作成期間(第83期～第85期)中における追加設定元本額は2,550,712円、同解約元本額は32,049,022円です。

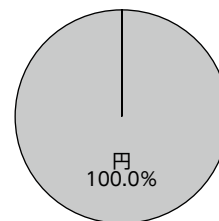
資産別配分



国別配分



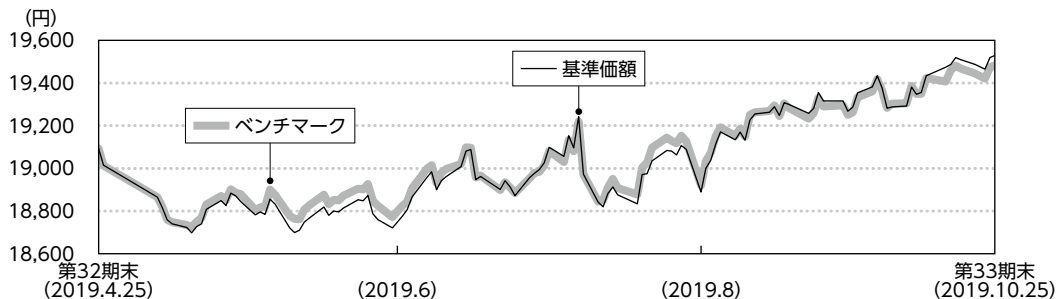
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2020年1月10日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■ 上位銘柄

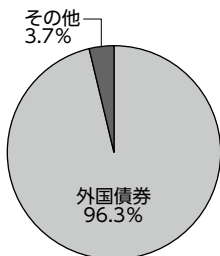
銘柄名	通貨	比率
FNMA TBA 4.5% 2049/11/1	米ドル	5.1%
GNMA TBA 4.0% 2049/11/1	米ドル	5.0
US TREASURY 3.0% 2047/2/15	米ドル	4.4
FNMA BF0101 3.5% 2056/6/1	米ドル	3.8
US TREASURY 2.75% 2042/8/15	米ドル	3.4
US TREASURY 2.25% 2027/11/15	米ドル	3.3
US TREASURY 1.875% 2021/11/30	米ドル	2.9
GNMA TBA 3.5% 2049/11/1	米ドル	2.5
GNMA BI6858 4.5% 2049/3/1	米ドル	2.4
GNMA MA3802 3.0% 2046/7/1	米ドル	2.2
組入銘柄数	268	

■ 1万口当たりの費用明細

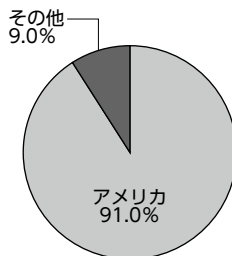
2019.4.26～2019.10.25

項目	金額
その他費用 (保管費用)	2円
(その他)	(2)
(その他)	(0)
合計	2

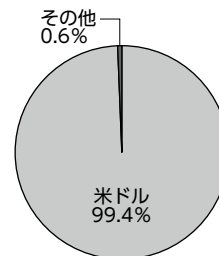
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



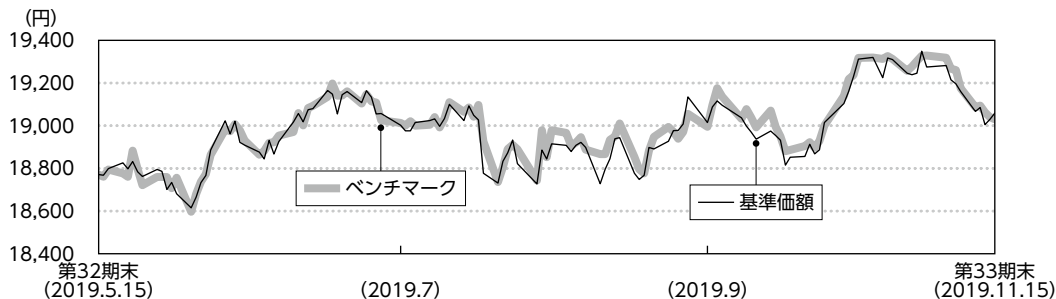
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2019年10月25日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■ 上位銘柄

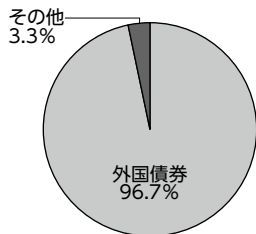
銘柄名	通貨	比率
UK TREASURY 3.25% 2044/1/22	イギリス・ポンド	4.4%
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 2.5% 2044/7/4	ユーロ	3.7
JPMORGAN CHASE & CO 0.625% 2024/1/25	ユーロ	3.4
FRANCE (GOVT OF) 2.75% 2027/10/25	ユーロ	3.1
BUONI POLIENNALI DEL TES 6.5% 2027/11/1	ユーロ	3.0
KINDER MORGAN INC/DELAWA 1.5% 2022/3/16	ユーロ	2.8
CRED SUIS GP FUN LTD 1.25% 2022/4/14	ユーロ	2.7
ALBEMARLE CORP 1.875% 2021/12/8	ユーロ	2.7
BUONI POLIENNALI DEL TES 0.7% 2020/5/1	ユーロ	2.4
UK TREASURY 2.75% 2024/9/7	イギリス・ポンド	2.3
組入銘柄数		77

■ 1万口当たりの費用明細

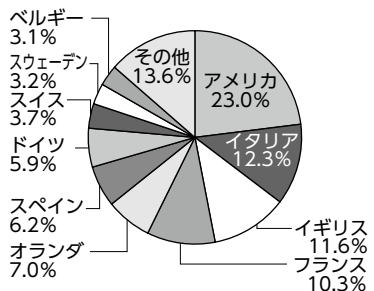
2019.5.16～2019.11.15

項目	金額
その他費用 (保管費用)	2円 (1)
(その他)	(1)
合計	2

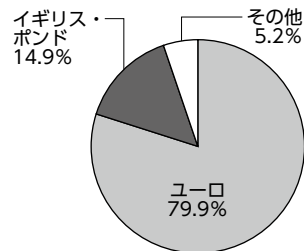
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



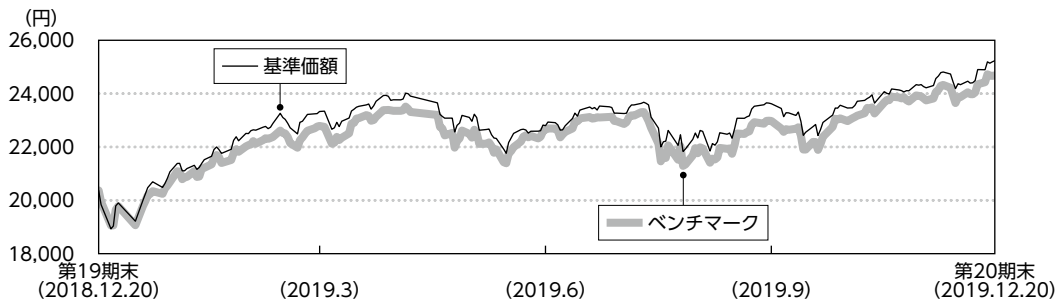
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2019年11月15日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■ 上位銘柄

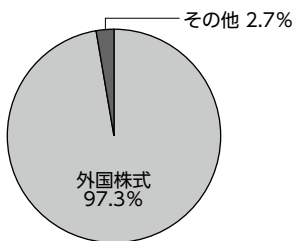
銘柄名	通貨	比率
NRG ENERGY INC	米ドル	4.2%
ASSURED GUARANTY LTD	米ドル	3.4
AMAZON.COM INC	米ドル	3.2
ONEOK INC	米ドル	3.0
NOMAD FOODS LTD	米ドル	2.9
CENOVUS ENERGY INC	カナダ・ドル	2.7
UNILEVER NV	ユーロ	2.5
MICROSOFT CORP	米ドル	2.4
BANK OF AMERICA CORP	米ドル	2.1
FISERV INC	米ドル	2.0
組入銘柄数		65

■ 1万口当たりの費用明細

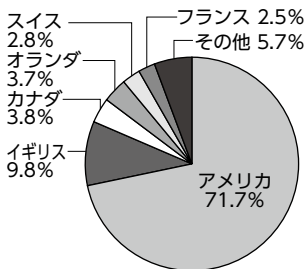
2018.12.21～2019.12.20

項目	金額
売買委託手数料	13円
(株式)	(12)
(投資信託証券)	(0)
有価証券取引税	4
(株式)	(4)
(投資信託証券)	(0)
その他費用	5
(保管費用)	(4)
(その他)	(1)
合計	21

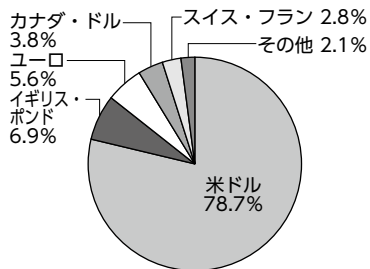
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



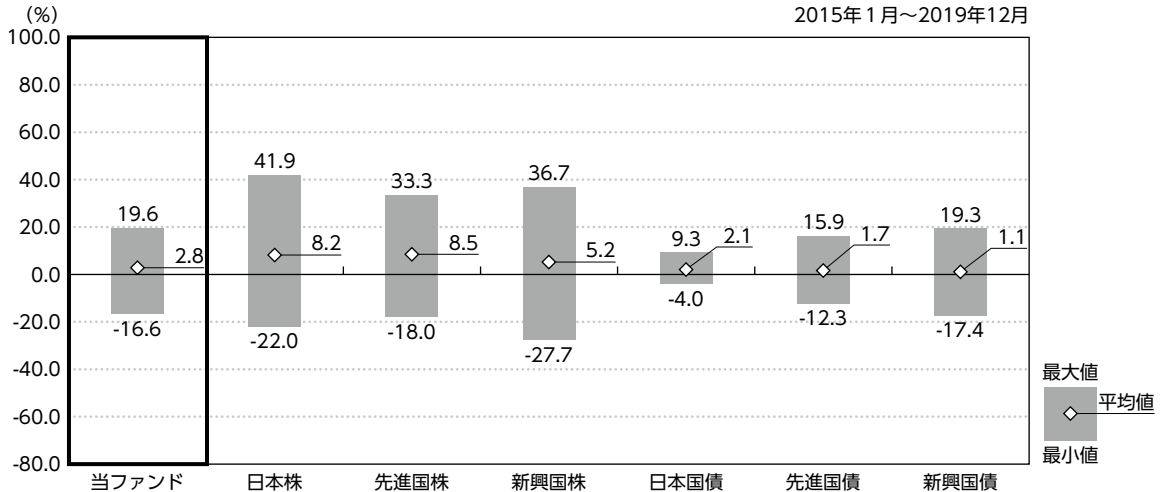
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2019年12月20日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

指数に関して

■ ファンドのベンチマーク等について

- ・ブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックス（円換算ベース）
ブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、米ドル建て投資適格債券市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。
- ・ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）
ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州総合インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、汎欧州通貨建て投資適格債券市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。
- ・MSCI コクサイ・インデックス（円ベース）
MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

■ 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびT O P I X（東証株価指数）の商標または標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

- ・MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA－BPI 国債とは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

■約款変更

信用リスク分散規制にかかる投資制限条項の追加および変更に伴い、関連条項に所要の変更を行いました。
(2019年10月11日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	下記マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に海外債券、海外株式へ分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ／パトナム・ バランスアップオープン	「ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド」 「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド」 「ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド」 受益証券
	ニッセイ／パトナム・ 米国インカムオープン マザーファンド	米ドル建ての米国国債、モーゲージ証券、米国社債、ハイイールド債 および米国外公社債等
	ニッセイ／パトナム・ ユーロインカムオープン マザーファンド	ユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社 債、ハイイールド社債等
	ニッセイ／パトナム・ 海 外 株 式 マザーファンド	日本を除く主要先進国の株式
運用方法	ニッセイ／パトナム・ バランスアップオープン	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、 信託財産の純資産総額の70%未満とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ／パトナム・ 米国インカムオープン マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託 財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ／パトナム・ ユーロインカムオープン マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託 財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ／パトナム・ 海 外 株 式 マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全 額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ただし分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	